

科目名					授業の種類	授業担当者
子どもの健康と安全					演習	井口美雪
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
1	1	15	30	後期	幼免:選択	保育士:必修
[授業の目的・ねらい] 子どもの心身の健康及び安全に関わる保健活動について、子どもの疾病とその予防及び適切な対処について理解し、緊急時の対応・事故防止・安全管理について講義・演習を通して学ぶ。また、心身の発育・発達に合わせた適切な接し方や援助方法をペア・グループワーク等を通して深める。						
[授業全体の内容と概要] 1. 保健的観点と保育環境と援助(健康と保育環境・個別と集団の健康と安全の管理) 2. 保育における健康及び安全の管理(衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害への備え) 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応(保育における罹患しやすい疾病・負傷時の応急処置と緊急対応) 4. 感染症対策(感染症への集団発生の予防、罹患後の対応と嘔吐処理の仕方等) 5. 保育における保健的対応(3歳未満児への対応・慢性疾患・アレルギー疾患・障害のある子どもへの対応) 6. 健康及び安全管理の実施体制(保健活動計画・職員間の連携・関係機関との連携)						
[受講上の注意事項] 授業で毎回使用する演習カードは、授業終了後に必ず提出する事。						
[使用テキスト] 子どもの健康と安全演習ノート(改訂第3版) 著者 小林美由紀 編集協力 榊原 洋一 森脇 浩一				[評価基準] 定期試験50% 演習後の演習カード・実習報告レポート50%		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項 目		授 業 内 容 ()は演習内容			
1	第1章 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助①		子どもの健康と保育の環境、子どもの健康及び安全の領域(各領域の内容)			
2	第1章 保健的観点を踏まえた保育環境及び援助②		子どもの保健に関する個別対応と集団及び安全の管理(健康診断・成長曲線)			
3	第2章 保育における健康及び安全の管理①		屋内・屋外の衛生管理(環境衛生検査・塩素消毒濃度)			
4	第2章 保育における健康及び安全の管理②		事故防止及び安全対策(保育中の予想される事故とその対応策)			
5	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応①		体調不良時の対応(健康観察・バイタルサイン)			
6	第3章 子どもの体調不良などに対する適切な対応②		子どもに起きやすい負傷時の応急処置と医療機関受診時の対応(応急処置)			
7	第2章 保育における健康及び安全の管理③		危機管理と災害への備え(災害時の緊急持ち出し物品リスト)			
8	第4章 子どもがよくかかる感染症の対策①		感染症の症状と対応・予防(嘔吐物処理方法)			
9	第4章 子どもがよくかかる感染症の対策②		出席停止期間と予防接種、保護者及び他職種・自治体との連携(手洗い)			
10	第5章 保育で必要な保健的対応①		保育における保健的対応の基本的な考え方と3歳未満児への対応(3歳未満の保育で予想される事故とその対応策)			
11	第5章 保育で必要な保健的対応②		個別配慮を要する子どもと緊急時の対応(エピペンの打ち方)			
12	第5章 保育で必要な保健的対応③		慢性疾患・障害のある子どもへの対応(発達障害児への対応:グループワーク)			
13	第6章 健康および安全の管理の実施体制①		保健計画と保健活動の実践(保健便り作成)			
14	第6章 健康および安全の管理の実施体制②		保健活動における職員間の連携・関係機関との連携(救急車の要請)			
15	まとめと試験		まとめと試験			
実務教員としての経歴		長野県公立小中学校養護教諭39年 清泉女学院大学看護学部 非常勤講師4年 文化学園大学保育専門学校 非常勤講師3年				
実務経験と授業の関連		養護教諭の経験を活かし、子どもの心身の保健管理・保健教育・環境・安全について実践的に伝える				